

今年度の主な事業を紹介します。

① 健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち (保健・医療・福祉分野)

- 健康診査事業・・・1,900万円
- つくみんイキイキ健康マイレージ事業・134万円
- 子ども医療費助成事業・・・5,020万円
- 医療人材育成事業助成金・・・400万円
- とぎの輪食堂事業・・・203万円
- 離島・半島部等介護サービス提供促進事業
・・・180万円

③ 世界に誇る地域資源で活力を創造するまち (産業振興・雇用分野)

- 農業担い手育成総合支援事業・・・416万円
- みかん産地活性化事業・・・362万円
- 企業立地促進事業助成金・・・1,400万円
- 有害鳥獣捕獲事業・・・1,538万円
- 水産資源管理事業・・・496万円
- 地方創生推進交付金事業・・・7,331万円
- 創業支援事業補助金・・・500万円

⑤ 美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち (循環型社会・環境保全分野)

- 環境測定業務委託・・・366万円
- 環境測定機器購入事業・・・370万円
- ドリームフューエルセンター維持管理費
・・・2億3,102万円
- し尿前処理施設維持管理費・・・3,800万円

⑦ 災害復旧関連事業

② 郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち (教育・文化分野)

- 小中学校特別支援員配置事業・・・873万円
- スクールソーシャルワーカー活用事業・156万円
- hyper-QU活用事業・・・74万円
- 外国語指導助手活用事業・・・817万円
- 地域協育力向上支援事業・・・212万円
- 芸術文化振興事業・・・794万円
- 津久見市民図書館改修工事・・・7,261万円

④ 多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち (都市基盤・生活基盤整備分野)

- 定住促進対策事業・・・2,862万円
- 市道徳浦松崎線バイパス事業・1億3,326万円
- 畑地区給水施設整備事業・・・1,100万円
- 道路改良事業(防災・安全交付金事業)
・・・1億1,490万円
- 土砂災害ハザードマップ作製事業・200万円
- 橋りょう改良事業(防災・安全対策交付金事業)
・・・6,055万円

⑥ 未来の津久見を共に考え行動するまち (市民活動・行財政分野)

- 新庁舎等施設整備事業調査業務・・・300万円
- 総合計画後期基本計画及び
総合戦略・人口ビジョン策定事業・・・448万円
- 婚活サポート推進事業補助金・・・100万円
- まちづくり推進事業補助金・・・180万円
- 地域おこし協力隊活動事業・・・1,431万円

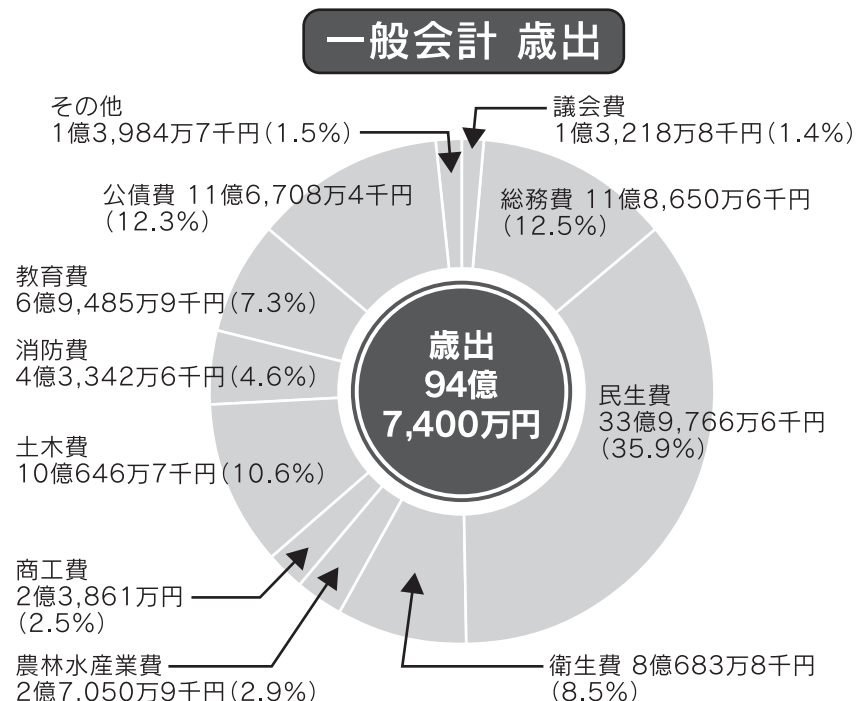
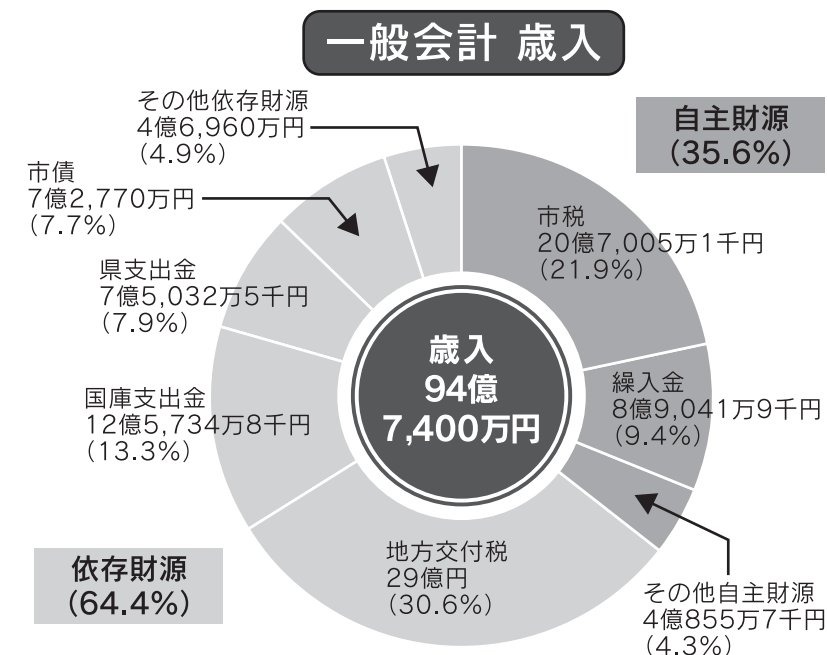
- 災害被災者住宅再建支援金・・・4,900万円
- 復興まちづくり事業補助金・・・200万円
- 津久見川河川激甚災害対策関連事業
・・・6,150万円

災害復旧関連事業の取り組みについて

災害復旧関連事業については、上記の3事業のように平成31年度当初予算に計上したものだけでなく、平成29・30年度から繰り越した、道路・橋りょう・農地・農業用施設などの災害復旧事業についても引き続き取り組むとともに、ハード・ソフト・活力の3つを推進していきます。

平成31年度 当初予算の概要

誇りと自信に満ちたまち「津久見」を目指して



津久見市は、台風災害から1年半、今後は新たなステージに向けた取り組みを進めていかねばなりません。また、『市庁舎建設』『集客交流拠点整備』『市中心部の活性化』『津久見川河川激甚災害対策関連事業』などの大型事業も控えております。このような中、平成31年度予算は、引き続き復興事業に取り組むとともに、適正な事業規模や財源確保に留意しつつ、『誇りと自信に満ちたまち「津久見」の実現に向けた編成を行いました。』

《一般会計歳入 市税の内訳》

市民税	8億3,241万8千円
固定資産税	9億7,337万1千円
軽自動車税	5,217万1千円
市たばこ税	1億1,082万2千円
釧産税	4,306万6千円
都市計画税	5,820万3千円

《市民1人当たりの市税額》 118,228円

市民税	47,542円
固定資産税	55,593円
軽自動車税	2,980円
市たばこ税	6,329円
釧産税	2,460円
都市計画税	3,324円

※金額は、平成31年3月31日現在の人口17,509人で計算しています。

特別会計 予算額

国民健康保険事業	24億5,496万8千円	公共下水道事業	10億3,587万3千円
土地区画整理事業	7,845万円	後期高齢者医療	3億920万1千円
奨学資金事業	1,240万9千円	介護保険事業	27億7,889万4千円
簡易水道布設事業	5,057万1千円	合計	67億2,036万6千円